

裏磐梯の鳥たち

H. I.

<おもな鳥の生息場所>

僕は1年生の時からやっている自然体験学習でずっと**鳥の食性・生息場所・鳴き声・渡りをするのか渡りをしないのか**について詳しく調べてきました。

鳥は鳥でもその鳥の性格によって暮らし方が違う鳥はたくさんいます。例えば、森林・草原・農耕地に生息するものもいれば、平地から山地にかけての森林・草原・農耕地に生息するものもいます。そしてアカゲラというという鳥がいてその鳥は針葉樹林や昆交林などに生息しています。

<モズの生息場所>

そしてモズは明けた森林や林縁、河畔林、農耕地など多くの場所に生息します。実際にはこういった風に生息場所が多い鳥を調べたものの、見ることはできませんでした。このように鳥はたくさんの場所に生息して生きていきます。これも自然の一つです。**いかに自然を壊してはいけないか**ということが改めてわかりました。

<おもな鳥の食性>

鳥は種類が違うことによって食べるものも変わってきます。{**魚類・両生類・小型哺乳類** 甲殻類・昆虫・水植物・小型爬虫類・軟体動物}など、たくさんの生物を食べます。

実際に磐梯で見た印象的だった鳥はメジロです。メジロはとにかく甘いものが大好きで特に花の蜜やフルーツをよく食べます。

<メジロについて>

メジロは東アジア {日本・中国・朝鮮半島・台湾・海南島} から東南アジアにかけて分布します。そしてメジロは渡りを行わない**留鳥**です。でも日本国内では渡りを行います。{**漂鳥**} 春は特に梅の花に群がり僕も実際に見ていないが鳴き声は聞こえました。そして草野先生によると桃やオレンジが大好きだということでした。



<磐梯で見た鳥の姿>

磐梯山にはたくさんの鳥たちがいます。でも今年は9月というあまり鳥の姿を見られない時期になってしまい、その中で僕は数少ないながらも鳥を発見することができました。

ハシブトガラス・ハシボソガラス・セグロセキレイ・ノスリ・イカル・カルガモ・オオバン・カワウを見ました。

<ハシブトガラス・ハシボソガラスについて>

～ ハシブトガラス ～

ハシブトガラスは日本国内では留鳥で低地から山地にかけて広く分布します。本当は森林で暮らすカラスだったが、時代がたつにつれて都市にも急に暮らすようになりました。食べ物は昆虫や木の実、いろいろなものを食べます。

～ ハシボソガラス ～

ハシボソガラスはほとんど日本で平地から低山に分布します。渡りは行わない留鳥です。農耕地など開けた環境に生息します。食べるものは昆虫類、あるいは鳥類の卵や小動物などハシブトガラスと同じいろいろなものを食べます。ハシボソガラスも同じく時代がたつにつれて森林で暮らすものから都市で暮らすものが増えてきています。

～ハシブトガラスとハシボソガラスのくちばしの違い～

ハシブトガラスはくちばしがふとい。

ハシボソガラスはくちばしがほそい。

～カラスの主な食べ物～

カラスは都会で暮らすものと森で暮らすものとは食べるものが違います。都会で暮らすカラスは主にゴミを荒らして食べます。山などで暮らすカラスはゴミではなく虫など山にあるものならなんでも食べます。

<渡りについて>

渡りをする鳥のことを候鳥といいます。
渡りをしない鳥のことを留鳥といいます。
日本内で渡りをする鳥のことを漂鳥といいます。
夏に渡りをする鳥のことを夏鳥といいます。
冬に渡りをする鳥のことを冬鳥といいます。
旅をする鳥のことを旅鳥といいます。

<セキレイについて>

ハクセキレイは留鳥です。しかし、国内では漂鳥となります。日本では北海道や東北地方など北部のみで繁殖していたけれど、今は関東地方や中部地方など東日本で繁殖することが増えました。ハクセキレイは主に水辺に生息します。しかし、水辺の近くにある場所なら畑などにも生息するそうです。食性は採食に適した場所を探し、水辺や畑などに降りてきて岩などに隠れている昆虫類やクモ、ミミズなどを食べます。実際に磐梯でハクセキレイを見ることはできませんでした。

セグロセキレイは北海道・本州・四国・九州などで普通に見られる鳥で、実際に僕もセグロセキレイが休暇村裏磐梯のホテルの屋根の上にいるところを2羽見ることができました。そして飛んでいる姿も見られて、名前の通りセグロセキレイは体のほとんどが黒色をしているということを草野先生に教えてもらいました。これも同じくハクセキレイと同じ水辺に生息し、水辺の近くにある場所なら畑などにも生息します。食性もハクセキレイに似ていて岩などに隠れている昆虫類やクモ、ミミズなどを食べます。

キセキレイは日本では主に九州以北に分布し、渡りは行わない留鳥です。しかし、日本国内では渡りを行います。{漂鳥} 実際に磐梯ではキセキレイを見ることはできなかったものの、ハクセキレイ・セグロセキレイ・キセキレイの3種についてくわしく教えていただき、キセキレイとハクセキレイは図鑑で詳しく見させていただきました。

キセキレイは冬になると暖かい場所へと移動します。食性は動植物で日中は水辺を歩きながら水中や岩のすきまに隠れている昆虫類やクモ類などを食べます。また、飛んでいる昆虫を捕まえるときがあります。

～セキレイの主な生息場所～

セキレイは同じセキレイの仲間でも種類が違うことによって生息する場所も変わります。

ハクセキレイ・・・おもに下流に生息する

セグロセキレイ・・・主に中流に生息する

キセキレイ・・・主に上流に生息する

<イカルについて>

イカルは日本でも繁殖します。日本では北海道・本州・四国・九州の山林で繁殖しますが、冬季の北日本の個体は本州以南の暖かいところへ移動します。実際に磐梯ではイカルを一瞬だけみることができました。ただ目の前を通っただけだったのでよくわかりませんでしたが、草野先生は一瞬見ただけですぐにイカルと答え、いろいろなことを教えてくださいました。イカルは主に樹上で生活しますが、繁殖期には地上で採食しているときがあります。主な食性は木の実や草の種子を食べます。そしてたまに昆虫類も食べています。

<ノスリについて>

ノスリは主にモンゴル・中国・日本に分布します。日本では北海道・本州中部以北・四国の山地で繁殖し、繁殖をするときは渡りを行いません。その他に南西諸島をのぞいて全国に冬鳥として渡りを行います。磐梯では実際にノスリを5羽見ました。ずっと鳴きながら辺りをぐるぐると回っていました。ノスリは平地から山地の森林に生息します。主な食性は昆虫類・両生類・爬虫類・鳥類・小型哺乳類です。

<カワウについて>

カワウは日本では、本州と九州に繁殖地があります。カワウは渡りを行わない留鳥です。青森県では夏鳥として繁殖します。実際に磐梯ではカワウを見ることができました。その時のカワウの様子を草野先生に聞いてみると、エサを狙っている様子で8羽ぐらい木の上にはいました。カワウは川にすむのでカワウと言いますが、ウミウというのもいて、ウミウは主に海に生息するものを言います。カワウは河川部や湖沼などに生息しています。カワウは群れで溜まる場所をいくつか持っており、そこで休憩し、睡眠をとります。カワウの主な食性は魚で、魚をまるのみしてしまします。

<カルガモについて>

カルガモは日本では主に本州以南に生息します。渡りは行わない留鳥です。実際に磐梯ではカルガモをみました。カルガモは3羽くらいいて、そこにはオオバンもいました。

カルガモは主に湖沼、河川などに生息します。渡りは行わないけれど冬季になると南下します。主な食性は種子・水生植物・昆虫などです。水面でも陸上でも採食はします。私が見た時は水辺にいました。



<オオバンについて>

オオバンは日本では夏季に北海道〔夏鳥〕・本州・九州で繁殖し、冬季になると本州以南で越冬します。また冬鳥として渡りをおこなうようです。このオオバンもカルガモをみた同じ場所で見ました。オオバンは我孫子では普通にいて手賀沼によくいます。オオバンの主な生息場所は湖沼・湿原・水田などです。主な食性は植物食傾向の強い雑食で、主に水生植物を食べますが、魚類・鳥類の卵や昆虫・軟体動物なども食べます。実際に私はオオバンを見ました。オオバンは我孫子にたくさんいるけれど、福島にいるオオバンを見ることができたのでよかったです。

<まとめ>

今回、大変な状況のなか、福島県裏磐梯に行けたことをとても感謝しています。私たちは自然に対してどのように受け止めるのかをよく考えることが課題だったと思います。林間学校にいった私たちだからこそわかることがあります。それは自然を大切にすることです。これからはこのようなことを意識して生活をしていきたいと思います。